

事務事業チェックシート

事務事業No 368 事業名 がん対策事業(乳がん)

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	7	健康で元気に暮らせる環境づくり
施策	1	健康づくりの推進
取組方針	2	成人保健対策の推進

事業種別	継続		
事業期間	永年 ~		
事業実施の根拠法令	健康増進法		
関連個別計画	健康わかやま2 1 推進計画		
担当課・担当課長・Tel	地域保健課	松浦 英夫	488-5121
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	衛生費		
	項	保健衛生費		
	目	成人保健対策費		
	大事業	成人保健対策事業		
中事業	がん対策事業(乳がん)			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にする)ための事業か 日本人の死因第一位である「がん」を早期発見することで、早期治療に結びつけ、市民の健康保持をはかるだけでなく、自身の健康管理についての意識の向上をはかる。 乳がんによる死亡は年々増加している。とくに壮年層での部位別がん死亡率では、乳がんが最も多く、働き盛りの女性が乳がんを命をおとしている。これを減少させるために有効な乳がん検診を実施する。		全体事業概要 乳がん(集団・個別)検診 ◎集団検診 項目:問診、マンモグラフィ(検診パスの利用) 場所・内容:①保健所、保健センター、和歌山ビッグ愛にて実施(年間20回前後予定)(電話・ハガキによる申し込み) ②胃・肺・大腸がん検診とのセット検診(電話・ハガキによる申し込み) ◎個別検診 項目:問診、視触診、マンモグラフィ 実施場所:和歌山市内の指定15医療機関(うち2機関はマンモグラフィ撮影は別機関で実施) 内容:直接医療機関に申し込んで受診				
	事業内容	平成27年度 ・乳がん検診の実施(個別、集団) ・複数のがん検診とセットで受診できる集団検診を実施 ・ラジオイベント等で周知 ・4か月児、1.6か月児健診での周知 ・母子手帳にちらしを同封 ・両親教室での周知 ・医療機関に精密検査対象者の結果報告を依頼 ・集団検診では休日も実施 ・40歳の女性に無料クーポン券を交付 ・平成25年度クーポン未利用	平成28年度 ・乳がん検診の実施(個別、集団) ・複数のがん検診とセットで受診できる集団検診を実施 ・ラジオイベント等で周知 ・4か月児、1.6か月児健診での周知 ・母子手帳にちらしを同封 ・両親教室での周知 ・医療機関に精密検査対象者の結果報告を依頼 ・集団検診では休日も実施 ・40歳の女性に無料クーポン券を交付 ・40~69歳の市民にがん検診	平成29年度 ・乳がん検診の実施(個別、集団) ・複数のがん検診とセットで受診できる集団検診を実施 ・ラジオイベント等で周知 ・4か月児、1.6か月児健診での周知 ・母子手帳にちらしを同封 ・両親教室での周知 ・医療機関に精密検査対象者の結果報告を依頼 ・集団検診では休日も実施 ・40歳の女性に無料クーポン券を交付 ・40~69歳の市民にがん検診	平成30年度 ・乳がん検診の実施(個別、集団) ・複数のがん検診とセットで受診できる集団検診を実施 ・ラジオイベント等で周知 ・4か月児、1.6か月児健診での周知 ・母子手帳にちらしを同封 ・両親教室での周知 ・医療機関に精密検査対象者の結果報告を依頼 ・集団検診では休日も実施 ・40歳の女性に無料クーポン券を交付 ・40~69歳のうち5歳刻みの年	平成31年度 ・乳がん検診の実施(個別、集団) ・複数のがん検診とセットで受診できる集団検診を実施 ・ラジオイベント等で周知 ・4か月児、1.6か月児健診での周知 ・母子手帳にちらしを同封 ・両親教室での周知 ・医療機関に精密検査対象者の結果報告を依頼 ・集団検診では休日も実施 ・40歳の女性に無料クーポン券を交付 ・40~69歳の市民にがん検診	

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	35,017	47,131	42,136	46,726	49,322	46,301	45,699		45,699	
伸び率(%)	-	-	20.3%	▲0.9%	17.1%	▲0.9%	▲7.3%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	正規職員	3,616	3,582	3,502	3,220	3,359	3,454	3,641		
	正規職員以外	900	1,037	984	429	429	673	673		
	小計	4,516	4,619	4,486	3,649	3,788	4,127	4,314		
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源(税等)	35,017	47,131	42,136	46,726	49,322	46,301	45,699		45,699	
所要人数(人)	正規職員	0.49	0.47	0.47	0.41	0.42	0.43	0.46		
	正規職員以外	0.61	0.66	0.66	0.28	0.28	0.43	0.43		
主な予算内訳	消耗品費175千円、委託料393千円、手数料237千円、啓発委託料488千円、がん検診委託料44,283千円等									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
			目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動指標	乳がん検診の受診者数	人	目標値				
			実績値	7,512	7,001	6,824	
			達成度(%)				
			目標値				
成果指標	乳がん検診の受診率	%	目標値	50	50	50	50
			実績値	16.8	10.3	10.3	
			達成度(%)	33.6%	20.6%	20.6%	
			目標値				
成果指標			実績値				
			達成度(%)				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	○ 達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	「女性特有のがん検診（子宮頸がん・乳がん）」の初めて対象年齢になった者を実施する無料クーポン配布事業を機会として、がん検診受診の勧奨を強く進めていく。
見直し・改善内容	健康に対する意識向上に努めたい。